
僕とお義母さんは人を殺しました

桂 ヒナギク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕とお義母さんは人を殺しました

【Nコード】

N3517L

【作者名】

桂 ヒナギク

【あらすじ】

僕のお父さんは僕の彼女、美咲と再婚した。立場が上となった美咲の態度に殺意が芽生えた僕は、彼女を殺害した。そして彼女も人を殺していた。それは……

僕、山田 薫のお義母さんは高校生で僕と同じクラスだ。
一週間前、僕と交際していた彼女は、どういふ運命なのか僕の実父と再婚した。

「何で結婚したんだよ!？」

僕の家の家族会議で父がいきなりそれを公表した。

正直、びっくりした。僕と彼女、深山 美咲は互いに愛し合っていたのに、突然父と結婚。驚くなという方が無理だ。

「お前にも母親が必要だと思っただよ」

「だからって、何でミサちゃんなのさ!？」

「それは、美咲くんがお前の母親になりたいと言っただよ」

「それを理由に再婚したの!？」

「ダメだったか？」

「いや、何も言わない……」

シヨックを受けた僕は自分の部屋に入った。そこでは、黒い長髪で端正な顔立ちの少女、美咲が荷物の整理をしていた。

「僕の部屋 っ!」

「あ、薫くん。今日からこの家に住む事になったから荷物の整理をしているの」

「僕の部屋で!？」

「お義母さん、薫くんと同じ部屋がいいの」

「待ってよミサちゃん!」

「ドロップキック!」

美咲が助走を付けてドロップキックを僕に放った。

「ぐはっ!」

僕は吹っ飛んでドアにぶつかった。

「お義母さんでしょ?」

「何で僕の母親になろうと思ったのさ?」

「え？ それは……薫くんを毎日起こせるから。あと、貴方のお弁当作りね」

「結婚しなくても出来る事でしょ!？」

「いや、お父さんが許してくれなくて。だから、薫くんのお父さんと結婚したいって言ったの。そしたらすんなりオーケー」

「あの人、ミサちゃんのお父さんとは中がいいからなあ……」

「薫くん、ぶっ飛ばしていい？」

「何で!？」

「私は薫くんの継母なんだよ？ お義母さんと呼ぶのがスジってもんじゃない？」

「そうですね、お義母さん」

もうどうにでもなれ。

「薫くん、荷物の片付け手伝って」

「一人でやれよ」

「薫くんはお義母さんの命令が聞けない悪い子なんだ。じゃあお仕置きだね」

そう言っつて美咲が僕に襲いかかった。

僕は一瞬で傷だらけになった。

「薫くん、手伝って」

「……はい」

僕は美咲の荷物の整理を手伝った、と言っつか、殆ど一人で片付けさせられた。

「有り難う、お陰で綺麗になったわ」

段ボールだらけだった部屋はすっかり綺麗になった。

「お義母さんは何もしてないよね」

「こういう事は息子がやるものだわ」

その時、僕の中で美咲に対する殺意が芽生えた。

「ミサちゃん、殺していい？」

「殺せるものなら殺してみな」

僕は美咲を押し倒してマウンドで首を締め上げた。

何分経過しただろうか。気が付くと、美咲は動かなくなっていた。無論、呼吸もしていない。

「ミサちゃん？」

僕は美咲の胸に耳をあてがう。しかし、心音はしていなかった。

美咲が死んだ。この手で美咲を殺してしまった。

僕は部屋の窓を開けた。

死のう。

僕は、二階の部屋から飛び降り、人を殺した罪で地獄に堕ちた。地獄には美咲も居た。

「どうしてミサちゃんがここに？」

「殺したから」

「誰を？」

「貴方のお母さんを通り魔の犯行に見立てて」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3517/>

僕とお義母さんは人を殺しました

2010年10月11日22時48分発行